



毎年2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day/RDD)

RDD

(アールディディ) ってなあに？

世界中の希少・難治性疾患の患者数をあわせると3億人と推定されます。しかし、一疾患ごとの患者数が少ないため病気に ついてわからないことも多く、診断機会や治療法、関係者や周囲からの理解などが不足している現状があります。

世界希少・難治性疾患の日 (Rare Disease Day, RDD) は、世界中の希少・難治性疾患の患者さんやご家族にとって、より良い診断や治療による生活の質 (QOL) の向上を目指す活動です。うるう年の「Rareな日」にあわせ、毎年2月

最終日が定例日となっています。2008年からヨーロッパでスタートした本領域世界最大の社会啓発イベントであり、日本でもその趣旨に賛同して2010年から全国で開催し、患者や家族同士、関係者らがつながる機会をつくっています。

【RDD2025in かがんま】と同時開催イベント

★市政出前トーク「災害に備えよう！」

令和7年2月22日(土) 10時30分～11時30分 ハートピアかがんま1階多目的ホール

★街頭キャンペーン 啓発活動

令和7年2月22日(土) 14時～16時 (鹿児島中央駅東口前)

★RDDに関するパネル掲示

令和7年2月21日(金)～3月3日(月) (鹿児島県庁1階ロビー)

★アミューズメントライトアップ

令和7年2月28日(金) 18時～23時

世界希少・難治性疾患の日

RDD in かがんま



主催: RDD Japan事務局 rdd@asrid.org

